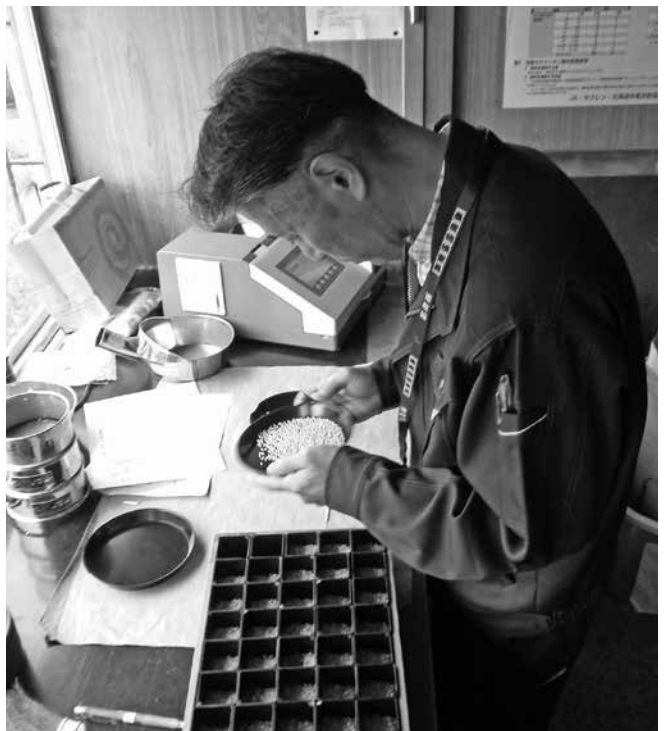


南るもい だより

発行所 南るもい農業協同組合 0164(代)42-1122
発行責任者 管理部
印刷 白鷗印刷株式会社

10月号 No.177



平成28年産米の集荷・受入

各地区において平成28年産米の検査が行われており、組合員の皆様に於かれましては出荷作業等お忙しいことと思っております。

各地区では検査された米の入庫作業が盛んに行われていまして、各倉庫に職員が配置し、トラックからの荷受、ブッシュユブルリフト等によるはい付け作業が日々行われております。

米検査、入庫作業ではトラックやリフトの出入りが多くなっています。運転、作業には十分注意しておりますが、組合員の皆様に於かれましては、この時期は日々のお仕事にお疲れのことと思っております。仕事が終わった後のお体の休息を忘れず、作業事故等に十分注意されます様お願いいたします。

平成28年産米出荷がはじまる

作柄概況(作況指数 9月15日現在)
留萌管内107が見込まれる

平成28年産米の検査は9月16日から小平地区、23日から幌糠地区、26日から増毛地区で米検査受入が始まりました。

10月3日現在では主食用・備蓄用・加工用・新規需要米で73,993.5俵が集荷受入され、その内、ななつぼしの低タンパク米(6.8以下)は28.1%、ゆめぴりかの基準米(7.4%以下)は84.1%を占めています。

本年度の南るもい地区作付面積は約1,832ha(備蓄米・加工米・新規需要米を含む)となっております。

10月3日現在集荷数量(主食用・備蓄用・加工用)

地区	数量(俵)	品 種 別 数 量 (俵)							
		ほしのゆめ	きらら397	ななつぼし	ゆめぴりか	おぼろづき	きたくりん	ゆきさやか	その他
小平地区	59,302.5	—	—	40,465.5	18,538.5	11.5	106.0	181.0	—
幌糠地区	10,285.0	—	—	5,273.0	4,647.0	—	292.0	73.0	—
増毛地区	4,406.0	—	—	1,630.5	2,440.0	—	—	129.0	207
合 計	73,993.5	0.0	0.0	47,369.0	25,625.5	11.5	398.0	383.0	206.5

特定米穀(麻袋・PP袋)

地区	数量(俵)
小平地区	4,088
幌糠地区	494
増毛地区	539
合 計	5,121



巡回ドック受診者80名

9月1日に小平地区、9月2日に留萌・増毛地区の巡回ドックが実施され、本年の受診者は小平地区57名、留萌地区17名、増毛地区が6名の合計80名の組合員及び家族の方が受診しました。

この検診は毎年実施しており、身体の状態と病気の早期発見・予防に効果を発揮します。

今年度も生活習慣病健診、特定健診などが設けられ、当巡回ドックも対応に戸惑いながら行っていました。平成20年度から健診内容の変更により、被保険者証の提示、社会保険等の方に於かれましては、番号再確認、受診券の送付等をお願いなどお手間を取らせてしまいましたが、来年度以降もお願いする

こととなりますので、ご協力お願いいたします。都合により当日受診できなかった方々に於かれましては、来年度の受診を心がけてください。

又、1日人間ドックについて各厚生病院(苫前・旭川・札幌等)で実施しています。これについては総合検診となりますので、巡回ドックを毎年受診されている方でも3年に1度くらいは人間ドックを受診されることをおすすめします。受診を希望される方は、農協本所、各支所、又は、直接厚生病院にお問い合わせ下さい。

苫前厚生クリニック TEL 0164-65-3535
旭川厚生病院 健診センター TEL 0166-33-7171

平成28年産水稲の作付面積及び作柄状況 北海道は103の「やや良」

農林水産統計（9月30日公表）では、調査結果の概要によると9月15日現在における全国の平成28年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む）は161万1,000haで、前年産に比べて1万2,000haの減少が見込まれる。うち、主食用作付見込面積は、138万1,000haで、前年産に比べ2万5,000haの減少が見込まれる旨発表しました。

9月15日現在における水稲の地域別の作柄は、北海道、東北及び北陸では、田植え期以降おおむね天候に恵まれたため、全もみ数はおおむね「平年並み」ないし「多い」となっており、登熟も順調に推移していることから、10a当たり予想収量は北海道で557kg（作況指数103）、東北で574kg（同102）、北陸で568kg（同107）が見込まれる。関東以西では、6月が日照不足傾向であったものの、その後はおおむね天候に恵まれたため、全もみ数は一部を除き「平年並み」ないし「多い」となっており、登熟もおおむね順調に推移し

ていることから、関東・東山は5543kg（同101）、東海は515kg（同102）、近畿は515kg（同101）、中国は528kg（同102）、四国は498kg（同103）、九州は510kg（同102）が見込まれ、この結果、全国の10a当たりの予想収量は545kg（同103）が見込まれると発表した。

北海道農政事務所によると、北海道の水稲作付面積は10万8,500haで、前年産に比べて2,200haの減少が見込まれており、なお、水稲作付面積（青刈り面積を含む）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた主食用作付見込面積は、9万9,000haで、前年産に比べて1,100haの減少が見込まれると発表した。道内の地域別作柄は、留萌・オホーツク・十勝が作況指数107で「良」、石狩・上川が103で「やや良」、北空知・南空知が102で「やや良」、後志・日高が101でそれぞれ「平年並み」、胆振が100で「平年並み」、渡島・桧山が99で「平年並み」となった。

表2 平成28年産水稲の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量 （作柄表示地帯別）

区分	作付面積(青刈り面積を含む。)				10a当たり 予想収量① (kg)	(参考)農家等が使用している、ふるい目幅の場合			平年比較			
	実数(ha)	前年産との比較		10a当たり 予想収量② (kg)		10a当たり 平年収量③ (kg)	作況指数 ④=②/③	穂数 の多少	1穂当たり もみ数の 多少	全もみ数 の多少	登熟の 良否	
		対差(ha)	対比(%)									
北海道	108,300	△	2,200	98	557	538	524	103	平年並み	やや少ない	平年並み	やや良
石狩	7,330	△	150	98	543	523	508	103	やや多い	平年並み	平年並み	平年並み
南空知	20,000	△	1,100	95	546	522	512	102	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
北空知	27,600	△	400	99	578	554	545	102	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
上川	30,300	△	300	99	577	561	546	103	やや少ない	平年並み	平年並み	やや良
留萌	4,390	△	60	99	543	529	495	107	やや多い	やや少ない	平年並み	良
渡島	3,010	△	80	97	486	468	471	99	やや少ない	やや少ない	やや少ない	やや良
桧山	4,180	△	10	100	497	480	484	99	平年並み	少ない	少ない	やや良
後志	5,100	△	20	100	529	510	504	101	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良
胆振	3,900	△	30	99	494	476	476	100	やや多い	やや少ない	やや少ない	平年並み
日高	1,420	△	50	97	491	474	471	101	平年並み	少ない	やや少ない	やや良
オホーツク十勝	1,060	△	30	97	528	504	469	107	多い	少ない	平年並み	やや良

注：1 ①10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 ②10a当たり予想収量、③10a当たり平年収量及び④作況指数については、農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅（北海道は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
 3 なお、作付面積については、四捨五入の関係で計と内訳が一致しないことがある。

水稲の年次別推移（北海道）

年産	作付面積 (青刈り面積を含む)(ha)		10a当たり収量(kg)	収穫量(子実用)(t)	参 考	
	子実用(ha)	主食用作付面積 (ha)			収穫量(主食用) (t)	
平成19	116,100	116,000	520	603,200
20	114,600	114,600	565	647,500	110,900	626,600
21	114,500	114,400	475	543,400	112,500	534,400
22	115,100	114,600	525	601,700	112,400	590,100
23	114,000	112,900	562	634,500	109,100	613,100
24	113,200	112,000	572	640,600	108,700	621,800
25	112,900	112,000	562	629,400	107,000	601,300
26	112,100	111,000	577	640,500	103,500	597,200
27	110,500	107,800	559	602,600	100,100	559,600
28(見込み)	108,300	..	557	..	99,000	551,400

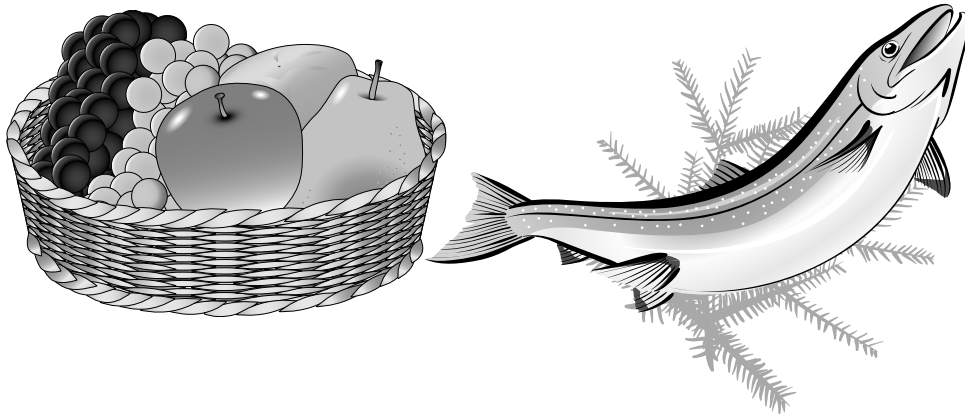
注：1 10a当たり(予想)収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 作付面積(子実用)とは、青刈り用等面積(飼料用米等を含む)を除いた面積である。
 3 主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む)から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の作付面積を除いた面積である。
 4 表中の「…」は事実不詳又は調査を欠くことを示している。
 5 表中の「..」は未発表であることを示している。

第45回 増毛町秋の味まつり開催される

9月25日(日)増毛港中央埠頭を会場に増毛町秋の味まつりが開催されました。

増毛支所からは、新米のななつぼしとりんごジュースの販売を行い、また、同ブースでの果樹生産者による、りんご、ぶどう、なし、プルーン等の販売も行われました。

当日は晴天にも恵まれ、細川たかしの新曲発売イベントも行なわれ、例年以上に盛り上がったまつりとなりました。



各事業所の営業時間が11月1日より冬期営業時間に変更となります。

変更後の内容は下記のとおりとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

〈各事業所営業時間〉

事業所	冬期営業時間	期 間	備 考
本所 管理部 内部監査室 金融共済部	8:45~17:30	平成28年11月1日~平成29年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
小平支所	8:45~17:30	平成28年11月1日~平成29年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
農業振興部	9:00~17:15	平成28年11月1日~平成29年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
購買部	9:00~17:15	平成28年11月1日~平成29年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
増毛支所 金融共済部門 生産販売部門	8:45~17:30 9:00~17:15	平成28年11月1日~平成29年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
幌糠支所	9:00~17:15	平成28年11月1日~平成29年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
ホクレン留萌給油所	7:30~21:00	通常営業	
Aコープルピナス	9:00~20:00	通常営業	
小平店舗	10:00~17:30	平成28年10月1日~平成29年3月31日	

※本所・支所の金融窓口は、通常どおり9:00~15:00までとなっております。